



今月のトピックス

つしま学び講座

『資料から見る、明治の津島』

日時 1月16日(日) 午後2時から

場所 図書館2階 大集会室

講師 園田俊介(津島市立図書館副館長)

*事前申込不要・無料

図書館には設立以来、津島に関する資料や珍しい図書が大切に保管されてきました。今回のテーマは「明治の津島」。『つしまかがみ』の内容を中心に、商家で賑わっていた100年前の津島について紹介します。

パネル展『新春めでたづくし

～新年によせて、図書館所蔵品展～』

*12月15日(水)から好評開催中

長い歴史をもつ津島市立図書館には、珍しい所蔵品も多くあります。今回、この中から「新年らしい」ものを選び、パネルで説明や紹介を付け展示します。

平成23年の新たな幕開けを、時を越えて現存する品々とともに祝いましょう。

パネル展『知っておきたい郷土の偉人』*1月20日(木)から開催

後醍醐天皇の曾孫とされる「良王」をはじめ、伊勢の大名になった服部小平太、妻のレオニーが映画の主人公となった野口米次郎など、『海部津島人名事典』の発刊を記念して、津島の偉人10名を紹介します。



2011年☆うさぎ年

今年は卯年。実用書や小説など、「うさぎ」にちなんだ本を紹介します。

- 『うさぎの品種大図鑑』
町田修/著 誠文堂新光社 645.9マ
- 『うさぎとの暮らし方がよくわかる本』
浅井洋子/監修 実業之日本社 645.9ウ
- 『miffy×miffy×miffy』
講談社/編 講談社 726.6ミ
「うさぎ」といえばミッフィー(うさこちゃん)。世界中で愛されています。

- 『うさぎ幻化行』
北森鴻/著 東京創元社 913.6キ
「うさぎへ」という遺書と、音のメッセージを遺した義兄。謎を巡る旅に出るのだが……。昨年、急逝した作者のミステリシリーズ。
- 『うさぎとマツコの往復書簡』
中村うさぎ他/著 毎日新聞社 914.6ナ
独特の存在感をもつ2人。対談もあります。

新着図書

『なくしたもののたちの国』 角田光代・松尾たいこ/著 集英社 913.6/カ



ポップでありながら、どこか懐かしさを感じさせる作風で注目を集めているイラストレーター・松尾たいこ。この本のために書き下ろしたイラストからインスピレーションを得て、直木賞作家・角田光代が五つの物語をつむぎだしました。

子供の頃に感じた心細さや安心感、大人になってからの自分……。胸がきゅんとするような、切なくも温かい気持ちになる短編集です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

『神守のむかしばなし』（『海部、津島のむかしばなし』その三） 天王文化塾/編集 黒田剛司/文

← 神守地区に伝わる伝説を昔話に仕立てました。

『雲物語』 高橋真澄/写真

← 雲と人類の関わりの歴史を美しい雲の写真とともに綴った一冊。

『作って楽しいアンパンマン』 島田明美/著

← アンパンマンキャラクターの小物の作り方を紹介。

『善人長屋』 西條奈加/著

← 世を忍ぶ悪党の巣「善人長屋」に、お人よしの加助がやってきて…。

『失業パラダイス』 碧野圭/著

← TV番組制作会社をクビになった敦は、先輩の会社を手伝うハメに。

『幕末銃姫伝』 藤本ひとみ/著

← 戦いに挑んだ若き女性にスポットを当て戊辰戦争を描いた歴史長編。

『磯野家の相続』 長谷川裕雅/著

← 遺産分与など、サザエさん家をモデルにしてわかりやすく説明。

『桐島、部活やめるってよ』 朝井リョウ/著

← 岐阜出身の現役大学生が描く小説すばる新人賞受賞作品。

『大不況！！年収120万円時代を生きる』 森永卓郎/著

← 最低年収で楽しく暮らすための知恵を伝授。

『巡査の休日』 佐々木譲/著

← 初作『笑う警官』が映画化された、北海道警察シリーズ第4弾。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。

キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.justmystage.com/home/toshokan/>

休館日

1月1日（祝）～1月3日（月）

1月25日（火）（毎月第4火曜日）

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

